



～装置の組立て風景～

- 本社所在地：熊本県玉名郡南関町上坂下51
- 事業概要：半導体製造装置メーカーへの装置組立や自動車、バイクメーカーへの部品の製造
- 常時使用する従業員：113名  
(2026年3月時点)
- 現在の売上高：10億円  
(2026年3月期)
- 法人番号：5330001011768
- Web： <https://www.yoshinodenshi.jp/>

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
古賀 博文

当社は【地域に密着した公園内企業】を目指しています。

吉野電子工業株式会社は、半導体製造装置の組立、金型設計製作、プレス作業を中核事業とし、さらなる技術力向上と生産体制の強化を図るため「売上100億円企業」を目指します。本目標は顧客への価値提供の拡大、社員の成長支援および待遇改善、そして地域に密着した公園内企業として所在地である南関町の産業発展に貢献することを目指しています。またAI・DXを活用したモノづくり革新を推進し、地域と共に持続的に成長する企業を実現してまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

10年後2036年度の年間売上100億円達成を目標に、生産性2倍化、DX・自動化による効率強化、若手人材の採用・育成による200名体制の確立、新工場稼働による生産拡大を実現します。半導体装置を中心とした事業強化と新分野への展開を進め、地域に密着した公園内企業として南関町の産業発展に貢献してまいります。  
【利益率は現状30%前後を維持しつつ、新分野の開拓により10年後の2036年度に100億円企業を目指します。】

### 課題

- ① DX・データ管理の遅れ ②技術継承の困難 ③人材確保
- ④生産キャパ不足 ⑤設備投資の増大 ⑥顧客依存度の高さ
- ⑦組織の中間管理層 ⑧新工場建設・運用の難しさ ⑨組織規模拡大による統制 ⑩長期的、安定的な利益維持

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

当社は、DX化による図面・工程データの一元管理を進め、作業手順の動画化や多能工育成で技術継承を強化します。採用体制を整え若手人材を確保し、レイアウト改善や自動化設備の導入で生産能力を高めます。設備投資は段階的に実施し、顧客分散と原価の見える化により収益の安定化を図ります。また、中間管理層を計画的に育成し、新工場は段階移転で立ち上げ組織統制を整えながら長期的な利益維持につなげます。

### 実施体制

成長手段の確実な実行を図るため、社長直轄の経営PMOを設置し、全施策の進捗管理及び調整を行う。AI,DX化は情報システム課が所掌し、技術継承及び人材確保は工場長及び製造部長が連携して実施する。生産能力向上並びに設備投資は生産技術責任者が計画的に管理し、営業調達は顧客分散及び原価管理を推進する。新工場の立上げは専任責任者が統括し、管理者は組織統制及び利益維持体制を整備する。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

吉野電子工業株式会社（例：売上高100億円  
実現の目標と課題）

吉野電子工業株式会社は、長年培ってきた精密加工・金型製作・電子部品組立の技術を基盤に、2036年度に売上高100億円を目指す中期ビジョンを掲げています。地域に根ざす企業として【ものづくり力】の強化と安定した雇用づくりを通じ、より持続的な成長を実現したいと考えています。

一方で当社には、紙図面中心の管理による作業効率の低下や、熟練者の経験に依存しやすく技術継承に時間がかかるといった課題があります。また若手人材の長期的育成が難しい場面もあります。設備のデジタル化や自動化も発展途上で、生産データの活用をさらに進める余地があります。こうした課題の解決に向け、DXを軸とした取り組みを進めていきます。図面管理のデジタル化、生産設備のIoT化による稼働の見える化を進め、作業時間の短縮や技能の標準化を図ります。また半導体分野を中心に新たな取引先開拓を進めるとともに、生産体制や品質保証体制を強化します。人材面では、正社員採用の強化や福利厚生充実化など働き続けやすい環境づくりを進めます。これらの取り組みを経営層と各部門が連携して推進し、会社全体で100億円達成を目指します！

売上高

